

あじさいネット

OFF LINE 通信

2016.7
Vol. 19

Regional Health Information Network



伊王島から望む長崎湾（長崎市）

特集：今さら聞けない あじさいネット

- あじさいネットでできることは *p.2*
- あじさいネットの病診連携 *p.3*
- 「シングル・サインオン」と「ポータル」 *p.4*

あじさいネットのキーパーソンに聞く〈寄稿〉

長崎県福祉保健部医療政策課 地域医療班 中村 直輝氏 *p.5*

会員様の声

- 情報閲覧施設** 美南の丘クリニック 松尾 彰先生 *p.6*
- 情報閲覧施設** 阿保外科医院 阿保 貴章先生 *p.7*

あじさいな人々／編集後記／あじさいネットからのお知らせ *p.8*

お役立ち 情報提供病院 連絡先一覧表／あじさいネット入会のご案内 別紙

現在の運用状況

- 患者登録数： 55,510 名
- 会員数： 752 名
- 情報閲覧施設数： 259 施設
- 情報提供病院数： 31 施設

(平成28年6月15日現在)

賛助会員

- ◆ (株) ホギメディカル福岡営業所
- ◆ 日本電気(株) 医療ソリューション事業部
- ◆ (株) L S I メディエンス
- ◆ 富士通(株) 長崎支店
- ◆ (株) NTTデータ 公共システム事業本部
- ◆ オフィスメーション(株)

あじさいネットとは？

暗号化したインターネットを使った長崎県の地域医療連携システムです。

あじさいネットでできることとは？

H16.10
開始

病診連携 (カルテ共有)

情報提供病院のカルテ、画像、検査結果などの診療情報を共有することで、検査や投薬の重複を防ぎ、より質の高い医療提供に役立てられます。



H26.04
開始

多職種連携(情報共有)

複数の医療機関の様々な職種の方々との間で患者さんの情報を共有できます。在宅医療や専門に特化した診療に役立てられます。



H26.07
開始

周産期医療支援 ネットワークシステム 「すくすく」

母子の記録・情報を管理し、安全な出産と健全な発育の支援をします。また、救急搬送時、情報提供病院は妊婦さんの到着前に診療経過を把握することが可能です。



詳しくは広報誌Vol.16をご覧ください。

H25.04
開始

AMEC TV会議

あじさいネットに繋がる端末に、カメラや音声機器をセットし、あじさいネットにログインすれば、どこでも手軽にTV会議やカンファランスに参加できます。



詳しくは広報誌Vol.18をご覧ください。

H28.01
開始

AMEC ビデオ配信 (医療福祉関連・多職種用教育ビデオ配信)

医療従事者の知識・技能向上を目的として行われている研修会や講演会を録画し、動画としてあじさいネット上でいつでも視聴できます。



詳しくは広報誌Vol.17をご覧ください。

H26.03
開始

セキュアメール (コード暗号化メール)

あじさいネット内でのみ送受信できるウェブメールサービスです。高度に暗号化されているので外部に漏れることなく、患者さんの情報も安全に送れます。



H25.04
開始

糖尿病疾病管理

糖尿病を持つ患者さんの診療情報を複数の医療機関で共有し、糖尿病診療の質向上を目指します。



テスト
運用中

検査データ共有 サービス

外注検査会社に依頼した検査結果をあじさいネット上で閲覧できます。さらにこの検査結果を他の診療所や病院と共有することも可能です。



テスト中

地域連携パス

診療所と情報提供病院の医師が、患者さんの治療を協力して行うために治療経過を共有する治療計画表の電子版です。



あじさいネットでは日々できることが増え続けています。

《賛助会員様広告欄》

HOGY®

一步先の手術室環境づくりをお手伝いします。

ホギメディカルでは、不織布・キット製品など感染対策製品および理想的な病院経営を総合的にサポートする手術管理システムをご提供しております。
国内最大級の生産・滅菌システムと全国25箇所の営業所ネットワークによって安定的な製品提供ならびにお客様サポートで「安心」をお届けしております。

株式会社 **ホギメディカル**

本社：東京都港区赤坂2-7-7 TEL:03-6229-1300 FAX:03-6229-1344

今さら聞けないあじさいネットの病診連携(カルテ共有)

■ あじさいネットの病診連携(カルテ共有)とは？

病院・診療所・薬局・介護施設
訪問看護ステーション



病院、診療所、薬局、介護施設、訪問看護ステーションにおいて、情報提供病院の診療情報を参照し、病状・病歴をより正確に把握することで、適切な診療に役に立てることができる。



情報提供

患者さん



同意書を提出することで診療情報の閲覧を承諾する。

情報提供病院



複数の医療機関と
タイムリーに情報共有

情報提供内容

■ 検査結果

- ・ 検査
(検体検査、微生物検査)
- ・ 放射線画像・読影レポート
- ・ 生理検査結果
(内視鏡、脳波、エコー、心電図、呼吸機能)
- ・ 病理レポート

■ 治療情報

- ・ 処方・注射・レジメン・輸血
- ・ 処置・手術記録
- ・ 放射線治療レポート

■ 記事

- ・ 医師記録
(退院サマリ、診察記事)
- ・ 看護記録
- ・ IC(インフォームドコンセント)記録
- ・ 服薬・栄養指導記録

■ 文書

- ・ 看護サマリ
- ・ 診療情報提供書

■ その他

- ・ 熱型表

※閲覧できる診療情報は、情報提供病院ごとに異なりますのでご注意ください。

■ 病診連携(カルテ共有)を行うにはどうしたら良いのか？

1 患者さんの同意を取得

1. あじさいネットホームページ、またはあじさいポータル画面から同意書をダウンロードし、プリントアウト



2. 患者さんへあじさいネットの趣旨を説明し、同意を得る
3. 患者さんと同意取得者が署名する

2 情報提供病院の地域連携室へFAX送信

閲覧を希望する情報提供病院の地域連携室へ同意書をFAX送信する

3 登録完了のFAX受信

情報提供病院の地域連携室から15分以内に登録完了のFAXが届く

4 診療情報を閲覧

患者さんの診療情報を閲覧する

※同意書の原本は、後日、連携先病院に郵送してください。
(複数枚まとめて送っていただいても構いません)

《賛助会員様広告欄》



Empowered by Innovation

NEC

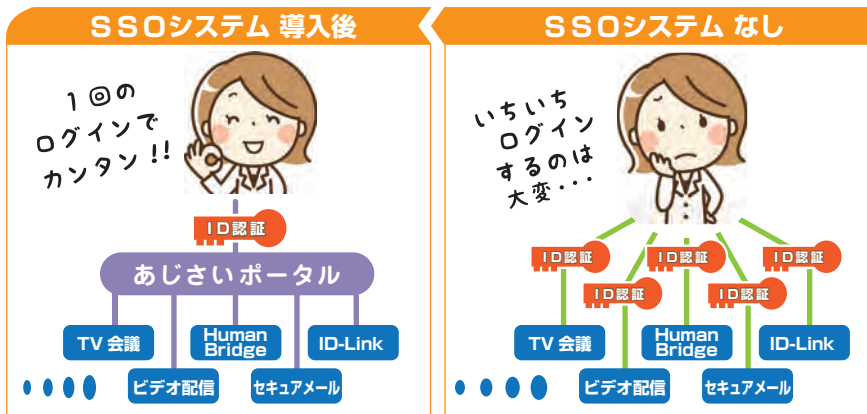
見つめているのは、人びとの暮らしです。

人びとが安全・安心で豊かに暮らせる社会のために、私たちは先進的なICTで貢献します。

お問い合わせは NEC(医療ソリューション事業部)へ
〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1(NEC本社ビル) TEL:03-3798-6756

<http://jpn.nec.com/>

「シングル・サインオン」と「ポータル」



シングル・サインオン (Single Sign-On: SSO) システム

あじさいネットで利用できるサービス(前頁を参照)はそれぞれ独立して機能しており、本来は各サービスごとに独自のIDとパスワードでログインする必要があります。

その煩わしさが2011年に解消され、あじさいネット会員であれば、あじさいID一つですべての提供サービスが利用できるようになりました。これが「シングル・サインオン(SSO)システム」です。

このシステムにより、各サービス独自のIDとあじさいIDが紐付けられているので、サービスごとのログインを意識する必要なく、簡単に利用できるようになります。

あじさいネットの提供サービスが増えた現在、SSOシステムは欠かせない機能になっています。

あじさいポータル

あじさいネットを利用するには、まず「ポータル画面」と呼ば

新あじさいポータル画面のレイアウトと機能 (2016年3月リニューアル)

お知らせ
会員様へのお知らせを随時掲載。

ログイン・ログアウト
パスワードに関するお知らせや変更などもここに集約。

同意書ダウンロード
同意書の全てがここからダウンロードできます。

情報提供病院一覧
クリックすると一覧表が開き、ID-Link、HumanBridgeそれぞれの連携病院が確認できます。

カルテ共有・多職種連携

セキュアメール

AMEC (TV会議・ビデオ配信)

周産期支援システム

検査データ共有

糖尿病疾病管理システム

地域連携バス

機能一覧

法人概要
協会の組織や定款など。

ログアウト
パスワードの有効期限は90日です。
パスワードを再入力してください。

同意書ダウンロード
同意書ダウンロード

情報提供病院一覧
検索
五島、豊城
津島、津島

法人概要
協会概要
役員会
ネットワーク概要
協議会定款
規程
利用マニュアル
利用権限定
協賛会加盟

他の提供サービス
Ajisai-net Secure Mail Service
AMEC
周産期支援システム
検査結果参照
糖尿病疾病管理
地域連携バス

お問い合わせ
お申し込み・お問い合わせ先
あじさいネット事務局 aj-net@nigb.sakumed.or.jp

各病種に関する質問等
各病種までお問い合わせください。出典: 提供病院連携推進委員会

Copyright © 2016 AJISAI-NET All Right Reserved.

れるページにログインします。「ポータル (Portal)」とは「港 (Port)」に由来した言葉で、「入り口」を意味する言葉です。「あじさいネット」で提供される複数のサービスに入るための「入り口」がこの「ポータル画面」です。個々のサービスは皆、診療支援と生涯教育を意識した有用なものです。是非、一度使ってみてください。



《賛助会員様広告欄》

ヘルスケアの未来を変えていく。



株式会社LSIメディエンス

臨床検査 / 健康診断サポート / 診断薬・機器 / 創業支援 / 環境リスク評価 / 食の安全サポート / ドーピング検査

LSIメディエンスは、(株)三菱ケミカルホールディングスの事業会社である(株)生命科学インスティテュート(Life Science Institute, Inc.)のグループ企業です。

〒101-8517 東京都千代田区内神田一丁目13番4号 THE KAITEKIビル

THE KAITEKI COMPANY
三菱ケミカルホールディングスグループ





あじさいネット

AJISAI NET Regional Health Information Network

診療所・薬局・訪問看護施設などの皆様へ

入会のご案内

入会申請から利用開始までの流れ

入会申請書を提出する

入会申請書に必要事項を記入し、あじさいネット事務局へ提出します。(申請書はホームページからダウンロードできます)

施設が新規に入会する時に必要な書類

- 施設入会申請書【情報閲覧施設用】
- 機器設置ヒアリングシート
- 入会する人数分の 個人入会申請書

運用講習会を受講する

あじさいネットの概要や、利用に際し必要な事をご説明する「運用講習会」を受講していただきます。
(講習会の日時や場所は、入会申請受理後にご案内いたします)
受講が終わると、あじさい会員IDが発行されます。

機器を設置する

あじさいネットを利用するために必要なVPN機器の設置をするため、専門業者が施設にお伺いいたします。
(設置の日程については入会申請後、専門業者よりご案内いたします。)

初期費用・利用料のお支払い

入会金・初期設定費用・利用料をお支払いいただきます。
※「利用料」は会費およびシステム料・ウィルス対策費用で、毎年10月以降に1年分を請求します。入会時は機器設置の翌月から9月分までを一括でお支払い下さい。

ご利用開始

これであじさいネットが利用可能です。
患者さんから同意書を取り、情報提供病院にFAXすると約15分で診療情報が閲覧できるようになります。
皆様の日々の診療にぜひお役立て下さい。

あじさいネットは、医療関係機関を強固なセキュリティネットワークでつなぎ、様々な情報をやりとりできる全国屈指の医療連携ネットワークシステムです。
あじさいネット上では、情報提供病院の診療情報を閲覧するサービスを始めとして、その他にも様々なサービス・機能を提供しております。今後さらなる機能拡張・追加を予定しています。
入会申し込みからご利用開始までの手順は、左記の通りです。たくさんの方の医療関係機関の参加をお待ちしています。

あじさいネットではこんな機能が使えます

- ・情報提供病院の診療情報閲覧
- ・セキュアメール
- ・TV会議システム
- ・医療関係動画配信
- ・周産期医療支援システム
- ・地域包括ケアチーム医療
- ・糖尿病疾病管理システム
- ・地域連携バス
- ・検査データ共有

特別な機器が必要?
通常のインターネットができるWindowsパソコン

環境があればお申し込みできます。それ以外に事前に準備するものではありません。
※TV会議を利用するには、マイクやスピーカー等の機器が必要です。
モバイルでも使える?
iPadでもご利用になります。ただし、パソコンで利用できることが前提となっており、iPadのみでの入会利用はできません。
また、通常の利用料とは別に、iPad1台あたり月額700円の料金がかかります。

あじさいネット会員区分とご利用料金

5人以上入会する施設は、会費が割引になります。詳しい金額はあじさいネット事務局までご確認ください。

(表中の価格は全て税込です)

	正会員	準会員*	ポータル会員*	システム料 (VPN機器1台)	ウィルス対策ソフト ライセンス料 (パソコン1台毎)
年会費 (1年分一括払い)	36,000円 (月額3,000円)	12,000円 (月額1,000円)	1,200円 (月額200円)	12,000円 (月額1,000円)	3,000円
利用できる機能	あじさいネット 基本機能全て	あじさいネット 基本機能全て	希望する 1機能のみ		
総会議決権	○	×	×		
				入会金 <small>所属医師会が 入会済みなら 無料!</small>	初期設定費用
				50,000円	30,000円

* 1施設において、少なくとも1人は正会員となります。「準会員」または「ポータル会員」は、2人目以降の入会者について選択可能となります。

入会についてのお問い合わせ先

あじさいネット事務局 (長崎県医師会内)

TEL. 095-844-1111

申請書類ダウンロード: あじさいネットホームページ

<http://www.ajisai-net.org/>

「医療関係の皆さま」→「入会・退会申請書」のページからダウンロードしてください。



あじさいネット説明同意書の送付先一覧

AJISAI NET

見やすいところに貼ってご利用いただくと便利です

(2016年7月現在：情報提供病院31施設)

	医療機関名	FAX番号	電話番号
県央・佐賀	国立病院機構 長崎医療センター 地域医療連携室	0120-731-063	0120-731-062
	市立大村市民病院 地域医療連携室	0120-378-375	0957-52-1800
	国立病院機構 長崎川棚医療センター 地域医療支援センター	0120-82-2970	0956-82-3121
	諫早総合病院 医療連携室	0120-1388-35	0957-22-1380
	貞松病院 地域医療連携室	0957-54-1165	0957-54-1161
	愛野記念病院 地域医療連携室	0957-36-0731	0957-36-3950
	諫早記念病院 医療連携室	0957-22-2903	0957-22-0370
	日赤長崎原爆諫早病院 医療連携室	0957-43-2870	0957-43-2111
	南野病院 地域医療連携室	0957-54-8752	0957-47-5200
国立病院機構 嬉野医療センター 地域医療連携室	0120-473-489	0954-43-1213	
長崎	光晴会病院 地域医療連携室	0120-573-632	095-857-3563
	十善会病院 地域連携室	095-818-5388	095-821-1214
	長崎大学病院 地域医療連携センター	095-819-7305	095-819-7930
	長崎みなとメディカルセンター 市民病院 医療連携センター	095-821-1116	095-822-3251
	日赤長崎原爆病院 病診連携室	0120-845-262	0120-845-261
	済生会長崎病院 地域連携推進室	095-827-7025	095-827-7021
	聖フランシスコ病院 地域連携科	095-845-7600	095-846-2553
	井上病院 地域連携室	095-849-6622	095-844-1281
	長崎記念病院 地域連携室	095-871-1510	095-871-1515
	長崎北病院 診療録管理室	095-886-8707	095-886-8700
	虹が丘病院 地域医療連携室	095-856-1102	095-856-1112
	上戸町病院 地域連携室	095-832-5616	095-832-5615
	国立病院機構 長崎病院 地域医療連携室	095-808-0176	095-824-2788
	五島・吉岐	長崎県上五島病院 地域医療連携室	0959-52-8150
長崎県五島中央病院 地域医療連携室		0959-75-0657	0959-72-3181
長崎県吉岐病院 地域健康増進センター		0920-47-1136	0920-47-1135
光武内科循環器科病院 地域連携課		0920-48-1655	0920-47-0023
県北	佐世保市総合医療センター ※2016/4/1 地域連携センター 「佐世保市立総合病院」から施設名変更	0956-24-0474	0956-24-1515
	佐世保中央病院 地域医療連携センター	0800-7000-070	0120-33-8293
	佐世保共済病院 医療連携室	0120-12-2067	0956-22-5136
	長崎労災病院 地域医療連携室	0120-666-437	0956-49-2191

あじさいネット説明同意書は、必ず上記FAX番号あてに送信してください。

同じ病院内でも違う番号（代表番号等）あてにFAXすると、処理に時間がかかる場合があります。



「ICTの活用」という言葉が広まって久しいですが、我々は様々なシステムやパソコンに日々向き合っているにも関わらず、たびたび言うことを聞かない彼らに怒ることが一定の頻度であります。と、昔は電話や手紙でやり取りしていた、電卓で計算して何度も確認していたことを思うと、作業効率の向上は簡単に推し計ることができないレベルで、この程度のストレスは我慢すべきとのご指摘は当然です。最近では「人工知能」の発達で、人間の仕事が奪われるという話も聞きますが、あと何年かすれば、我々の仕事もそうなるのではないかと、実は冷や冷やしている毎日です。

医療におけるICTの話をするとき、どうしても夢のような話が先行してしまいますが、まず言えるのは、蓄積されたデータの分析と個人の紐付けが最も力を発揮する分野だ

ということ。出生時にどのような経過を辿ったか、小児期にこういう疾患にかかり易いとか、身近な「地域単位」でのがんの罹患率など、簡単に分析できるようにする。また、このような情報を県民がインターネットで簡単に見ることができれば、どんなに便利なことでしょう。国ではマイナンバー制度の導入などが進んでいますが、今は新たな展開の岐路にあると思います。

ムにでも言えることですが、「利用者目線」を持つことが重要です。同じ入力画面でも、「次へ」とガイダンスで進むウィザードなど、評判の良いシステムほど配慮されていて、使いやすい画面になっていきます。視覚的にすぐ判断できる入力項目であること、閲覧方法であることが重要です。また、「利用者目線」は画面だけではありません。導入から運用開始まで、利用者を丁寧にサポートする仕組み作りが必要でしょう。「導入はしたもののあまり使っていない」という事態を避けるため、例えば自院の電子カルテとの二重入力

あじさいネットの キーパーソンに聞く

の手間を解消し、利便性を高めることも、ユーザビリティに関わる大きな課題です。

2つ目は在宅医療、介護における利用の促進です。高齢者が増え、自宅など地域で支える仕組みづくりが進んでいますが、現場での情報共有のためには、モバイル端末での利用が重要です。また、介護施設には独自のシステムがあることが多く、近年増えている介護施設等からの救急搬送への対応のためにも、どのように情報を共有するか、その仕組みづくりも大きな課題です。3つ目は出産、子育てまでをカバーする「子育て支援」へ

の取り組みです。「周産期医療支援システム(すくすく)」の運用が始まり、地域の産科と、高度医療を提供する病院間での情報共有が可能になっていきます。情報共有の範囲を小児医療まで広げ、母子手帳交付、定期健診、家庭訪問といった行政施策と一体となった運用を行うことで、一貫した子育て支援を行うことができ、「少子化対策」の一助となることでしょう。

は本格的な「遠隔医療」の時代となるのが想定され、テレビ会議、eラーニングなど、「距離」を感じさせないためのツールの整備も効果的です。こうしたニーズを行政だけで把握することは困難で、多くの関係者の協力がないと、使い勝手のよいシステムはできません。医療に携わる人たち自らが作ったネットワークだからこそ、ここまで普及し、全国的にも先進的なネットワークができました。本県の医療ICTの柱として、今後必要なサポートを続けたいと思っております。



長崎県
福祉保健部医療政策課
地域医療班
係長 中村 直輝氏

《賛助会員様広告欄》

「つなぐ医療」から、
「支える医療」へ。

shaping tomorrow with you
社会とお客様の豊かな未来のために

富士通は、医療の未来をカタチにしていきます。

地域医療ネットワークの整備が進むなか、富士通は、地域と住民を「支える医療」にいち早く着手。災害時の事業継続、ビッグデータによる個別化医療、創業の加速化をサポートします。

HumanBridge EHRソリューション

製品・サービスについてのお問い合わせは
富士通コンタクトライン (総合窓口) 0120-933-200 (受付時間 9:00~17:30 土・日・祝日・年末年始を除く)
<http://jp.fujitsu.com/solutions/medical/products/humanbridge/>

あじさいネットを活用し、 よりよい医療提供を目指す

みなみ おか 美南の丘クリニック 院長 松尾 彰 先生



平成24年
あじさいネット
入会

あじさいネットで 情報を共有し、 診療に役立てる

近隣の情報提供病院の先生方とは、患者さんの紹介、逆紹介を度々行っており、連携して診療に役立つ情報を共有したいとの思いから、あじさいネットへ入会しました。

当院へ来院される患者さん
はご高齢の方が多く、記憶が曖昧で病名がはつきりしない場合や、飛び込みで来院された患者さんの診療情報を知りたい時など、様々な場面であじさいネットを利用しています。同意書をファックスで送れば

数分で登録が完了し、情報提供病院での治療内容や服用中の薬、症状について、正確で詳細な情報を得ることができ、大変便利です。

在宅患者さんの容態に変化があれば、過去の診療記録を見て、同じような状態がなかったか確認し、治療の判断に役立てています。

先日、アレルギーをお持ちで息苦しさを訴える患者さんが見え、薬の選択に迷ったのですが、薬歴と検査データを確認することで服用可能な薬が見つかり、安心して処方することができました。診療する上で気になる点があれば、すぐに調べられて助かっています。また、主治医意見書やリハビリ関係の情報提供、看護師さんへの訪問指示書等を書く際にもあじさいネットを利用し、情報提供病院の先生方のカルテを参考にしています。

地域医療の中で あじさいネットを 有効に活用する

患者さんのためになるのであれば、どのようなことでも診察しています。何よりも大切に思っていることであり、できる限りのことをするつもりです。

かかりつけ医として親身に相談に乗り、患者さんに最適な医療を受けていただくため、専門外の病気の場合や、高度医療が必要な場合には、適切な医療機関へ紹介するなど、地域の中での役割をしっかりと担っていこうと思っています。

あじさいネットは、患者さんの情報を把握するのに大変便利なシステムです。情報提供病院と連携して患者さんを診ていく上で、将来的には診療所からも多くの情報を発信して相互の診療情報共有ができれば、更によりよい医療を提供できると期待しています。

今後、我々が地域医療の中でどのようにあじさいネットを有効活用していくかが重要です。セキュリティを確保した上で、患者さんのために上手に役立てていきたいと思っています。

余暇の楽しみ

休日は、長年続けているゴルフでリフレッシュしています。気の置けない間柄のメンバーばかりが集まって、楽しい時間を過ごしています。

趣味は音楽鑑賞です。ジャンルを問わず、自分が良いと思う音楽を聴きます。夜、書類やカルテを整理する時には、ジャズを聞き流しています。

美南の丘クリニック

TEL. 0957-22-3730 E-mail: clinic3730@kyf.biglobe.ne.jp

《賛助会員様広告欄》



安心と安全を届けます

NTT Data
Global IT Innovator

あじさいネットは 地域医療に欠かせないツール

阿保外科医院 副院長 阿保 貴章 先生



平成25年
あじさいネット
入会

あじさいネットでの リアルタイムに情報共有

昨年の6月まで長崎大病院に勤務しており、当時、あじさいネットを利用していただいていた先生方は、あじさいネットを通じて患者さんのことを伝えるつもりでカルテを書いていました。情報提供病院の医師にとつて、あじさいネットは紹介状だけでは伝えきれない情報を有効に提供できる便利なツールだと感じていました。

現在は実家の診療所で地域医療に従事しており、今度はあじさいネットを側としてあじさいネットを利用していただきます。治療内容、検査データなどを把握しておくことで、在宅へ移行される逆紹介の患者さんや、化学療法を受けるために情報

提供病院へ一旦入院される患者さんの場合にも、入院中もずっと自分が診ていたかのように、退院後の診療がスムーズに継続できます。

また、情報提供病院で検査を受けると、短時間のうちにあじさいネットへ結果が反映されます。検査後に当院へ立ち寄られる患者さんに、いち早く結果がどうであったか伝えられる点にも便利さを感じています。

これから本格運用が始まる検査結果参照システムをテスト的に先行利用させていただいておりますが、これは、外注検査の結果があじさいネット上で閲覧でき、アクセス権を設定すれば他の医療機関とも共有できるサービスです。時系列でもデータを見ることができ、表示が速くて使いやすいです。グラフ作成も簡単で、患者さんにはモニターに表示して説明しています。検査結果データを取り込む高額な電子カルテシステムを導入しなくても、あじさいネット上で利用できるのだから助かっています。

カルテから 患者さんを知る

あじさいネットがよく利用するのは、主治医、看護師さんのカルテ記事です。インフォームドコンセントの内容や、会話のやり取りの記録を読むと、患者さんの気持ちが垣間見えるこ

とがあります。診療情報だけではなく、心の状態も知っていただきたい大事な事柄です。

患者さんには、あじさいネットがどのようなものであるか説明し、事あるごとに利用して見ていることを伝えていきます。患者さんやご家族は細かいことまでよく分かってくれていることに安心されているようです。

多職種連携を推進していくためには、コメディカルの方があじさいネットをもっと手軽に使えるようになることに期待しています。連携を密にするには、コミュニケーションの充実が欠かせません。セキュリティを担保した上で、スマートフォンでのLINEのように手軽に情報交換ができれば、患者さんの情報が更に共有しやすくなり、診療に活かすことができるかと思っています。

あじさいネットはよく考えて作られたシステムであり、地域医療を行う上で、なくてはならない存在です。より適切な医療を提供できるように、これからのツールとして多くの方に活用されることを望んでいます。

何事も丁寧

何事にも心を込め、丁寧に扱うことが大切だと思っています。良い結果に結び付くと実感できた経験を励みに、いつも「丁寧」に、「丁寧」に、自分に言い聞かせながら取り組んでいます。

阿保外科医院 TEL. 095-839-1151 E-mail: tac-a@pop11.odn.ne.jp

《賛助会員様広告欄》

医療法人仁寿会 **南野病院** 様

『あじさいネット』で新たに情報提供を開始されます。

患者様に安全と安心と満足を提供します。



オフィスメーション株式会社

長崎市金屋町2-6 電腦BLD.
http://www.nagasaki-om.co.jp

お問い合わせ **095-895-8188**
(ヘルスケア直通)

FUJITSU

『あじさいネット』に協賛しています。

編集後記

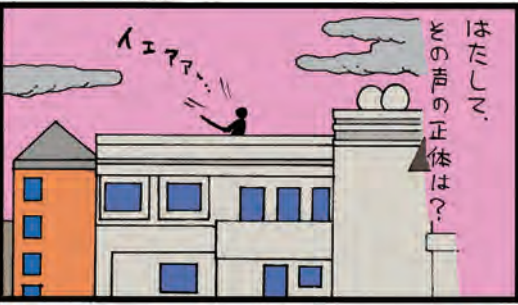
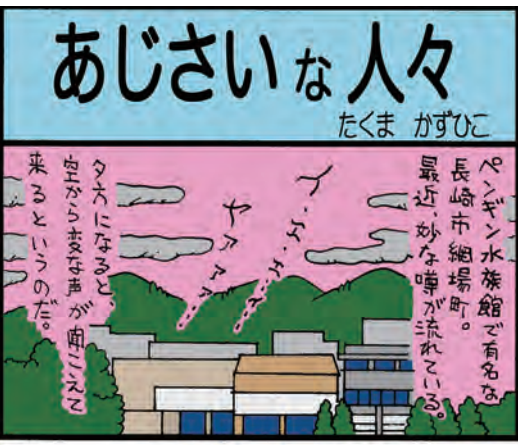
あじさいネットOFF LINE通信
編集長 松本武浩

すでにあじさいネットMLにてご連絡いたしました。平成28年度の診療報酬改定であじさいネットの利用に診療報酬評価がなされるようになりました。これは情報提供病院から診療情報提供書が届いた際、その患者の診療情報があじさいネットにて閲覧し、要点をカルテに記載することで、「電子的診療情報評価料」として30点が算定でき、逆に情報提供病院は診療情報提供書を記載し、算定時、相手方医療機関が当該患者の情報をあじさいネットにて閲覧できるようにアクセス権が設定されてお

ば、「検査・画像情報提供加算」として30点が算定できるものです。なお、退院患者であれば200点が算定できますが、別途診療情報提供書添付加算を算定している場合、同時に算定できないことにご注意ください。一方、日本医師会が発行している医師資格証（HPKIカード）をお持ちの方は、PCにICカードリーダー（3000円相当）を取り付け、資格証を載せたPCで日本医師会の「電子署名システムのページ」にログインすると、PDF保存した診療情報提供書に電子署名を付与することができ、電子署名した診療情報提供書（PDF）をあじさいネットのセキュアメールで送付先と送ると、これでも「電子的診療情報

評価料」が算定できます。つまり、情報提供病院であれば、診療情報提供書を送る場合も、受取る場合も、あじさいネットを利用することで算定でき、情報閲覧施設は受取る場合のみ算定できますが、医師資格証を得て上記の手順を取れば、送付時にも算定できることとなります。ただし、この際、診療情報提供書の中に検査結果と画像情報を含むことが条件となっており、どちらの算定も施設基準の申請が必要ですので、まだ申請しない施設は申請をご検討ください。

【参考】
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料の施設基準に係る届出書添付書類
<http://www.nagasaki.med.or.jp/main/ajisai/index.htm>



漫画制作：たぐま医院 院長 詫摩和彦先生
(長崎市医師会所属/長崎在宅 Dr. ネット理事)

あじさいネットからのお知らせ

同意書が新しくなりました！

疾病連携の開始に向けて、あじさいネットの説明同意書を改訂しました。

これまでの同意書を「情報閲覧施設用」とし、新たに「情報提供病院用」を用意しました。また、多数の医師がいる病院向けの「医師多人数版」、様々な職種に対応できる「多職種版」を用意しました。

そして、すべての同意書に「自院の患者ID番号」記入欄を新設しています。

今後は新しい説明同意書をお使いいただけますよう、お願いいたします。

多職種	薬剤師	看護師	医師(多)	医師	情報閲覧施設用
多職種	薬剤師	看護師	医師(多)	医師	情報提供病院用

「地域包括ケア」が「多職種連携」に名称変更しました

在宅医療におけるあじさいネットを利用したグループ診療について、これまで「地域包括ケア」としていましたが、このたび「多職種連携」に名称変更しました。同意書も「多職種連携」に名称変更したほか、登録人数の増加、職種記入欄を選択式に変更するなど、内容も見直しを図っています。

こちらもぜひ新版をダウンロードしてご利用ください。
(同意書はいつでもホームページからダウンロードできます。)

あじさいネットに関する
お問い合わせ・入会お申込み

あじさいネット事務局 (長崎県医師会内)

TEL.095-844-1111 FAX.095-844-1110

aj-na@nagasaki.med.or.jp